

平成28年第4回定例会一般質問要旨

◎小松議員

1. 農業振興政策での状況対策及び支援策について

規制改革推進会議の農林部会で抜本改革が推進されている農業改革については、大幅な譲歩がなされましたが、今後、再度提案の上、実施される懸念もあることから本町農業の現状を把握し、町としてどのような対策なり支援体制を考えているのかを伺います。

- ①農協組織改革の中で金融関係改革“組勘”廃止案が検討されていますが、行政の立場からどのように捉えているのか。
- ②生乳の流通改革、指定生乳生産者団体制度見直しについて、行政としてどのように把握し、対策を考えているのか。
- ③本町における農業生産、農業経営者の減少について、現状を把握し、町の産業、人口減少の歯止め対策を推進していく必要があると思いますが、どのように理解し、推進していくのか。
- ④労働力の確保による経営者の労働軽減を図りながら生産量・生産額確保と増額の推進や農業経営者減少の歯止めを図る制度改革として、
イ. 海外研修者制度の見直しと制度解釈による受入れを要請しては。
ロ. インターンシップ制度について、行政が制度化して推進事業を図っては。

平成28年第4回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

町長は、3期目の町政運営に対する所信表明の中で、4つの目標と31項目の主な事業に取り組むことを掲げております。

町長の公約であるそれら4つの目標の実現に向け、更なる施策の充実が必要と考え、下記について伺います。

1. 若年者(単身者)への住居環境の整備について

①目標の中に「佐呂間町を住みよい町に」と掲げ、人口減少・高齢化・子育て支援などに取り組まれておりますが、町内には若年者(単身者)等に適した住宅や集合住宅が少なく、止むを得ず町外から通勤している方々もおり、この町に居住したくても、町内に住居を確保できない状況になっております。こうしたことから若年者(単身者)等の住居不足への対策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。

②民間企業や各団体が雇用の場を創出し、それら若年者(単身者)の住居確保のため、社宅などを建設したくても、今一步踏み出せないのも現状であります。一戸建ての個人住宅には住宅建設促進事業が、企業の設備投資などには商工業活性化事業が創設されておりますが、民間の集合住宅や社宅などは対象外となっており、これらの住居不足の解消を図る意味からも何かしらの助成事業等の対策を講じる考えをお持ちなのか伺います。

2. 町有地・町有建物の活用について

①近年、町内市街地において空家・空地が増加しております。空地となっている、あるいは空地となるであろう町有地の中には、生活上利便性の良い土地柄のものも存在します。それらの土地を有効に活用するため、今後何かしらの施設の建設など、もしくは、これまでの先例にもあったように売却するなどの考えをお持ちなのか伺います。

②本町も含め地方自治体を取り巻く環境は、財政面・医療福祉面などにおいて、ますます地域格差が拡大し、依然として厳しい状況の中、限

平成28年第4回定例会一般質問要旨

られた財源・人員の中で選択と集中を迫られているのが現状であります。数年来利用されていない既存の町職員住宅や教員住宅、町所有施設などこれらの有効活用を図る取り組みが必要との観点から、PFIの導入などの考えをお持ちなのか伺います。

平成28年第4回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 暴風雪対策について

ここ数年、暴風雪により国道などが通行止めになるなどの災害が増えています。

本町では、町民への安全安心を一番に防災メールでの発信など、雪だけでなく防災情報の発信を行っています。

こうした中、社会福祉協議会では災害時要援護世帯への避難リュックの配布を行っておりますが、このリュックは雪害には対応しておらず、関係者への暴風雪害対策の準備が必要だと思っておりますが、どのように考えているのか伺います。

2. ペット保護について

犬や猫などのペットについては、動物の愛護及び管理に関する法律により、適正に行うことが定められておりますが、野犬や野猫の処分は年間何件程度行われ、また、何件程度保護されているのか伺います。

また、保護された犬や猫の対応については、譲り受けたい人への情報提供を行っている所もありますが、本町の対応について伺います。

3. 宮崎県「都農町」との交流について

現在、都農町とは物産などの交流を中心とし、本町収穫祭への出店、都農町での物産関係イベントへの関係者だけの参加となっております。

本町はヨロン島への子ども達派遣事業や姉妹都市パーマ市への派遣事業などを行っておりますが、パーマ市以外の子ども達を受け入れる事業がないと思っております。

そこで、都農町の子ども達を冬などに本町で受け入れ、また、夏は本町の子ども達が都農町を体験するなど、北海道と宮崎県の良さを体験できる人的交流などを今後、考えていくことも必要だと思っておりますが、どのように考えているのか伺います。

平成28年第4回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 就学援助入学準備金支給の改善について

就学援助の入学準備金はそれぞれ入学準備にかかる一部でしかありませんが、文科省の「児童・生徒が必要とする時期に支給されるよう」との通知に基づき、佐呂間町も入学前支給実現をと考えますが、教育長に伺います。

2. 学校図書費について

学校図書館図書標準達成率について、北海道は公立小学校全国最下位、公立中学校で40位という報道がありました。佐呂間町は小学校の達成状況50～75%未満2校、75～100%未満1校、中学校は50～75%未満という調査当時の結果ということですが、交付税に算入されている図書費を、学校図書の充実を図るために活用することについて伺います。

3. どさんこ・子育て特典制度について

妊娠中の方、もしくは小学生以下の子どもがいる世帯に特典カードを配布し、子ども同伴で買い物や施設を利用する際にカードを提示することで協賛店・施設から様々なサービスを受けられるという、子育て世帯を応援する制度が道の事業としてありますが、町の取り組みについて伺います。